

図書館だより

第49号

令和4年11月 加須市立図書館発行

特集①：『和』を感じる本



コロナ禍での自粛生活も少しずつですがようやく緩和され、観光地などでは、賑わいがみられるようになりました。日本は海外から人気が高い国ですが、数ある日本文化のなかには私たち日本人でも意外と知らない事が多いようです。そこで今回は『和』にちなんだ本を紹介します。

『着物の国のはてな』 片野 ゆか／著 集英社



着物を自身のワードローブに加えたいと「着物の国」に足を踏み入れた著者は、格式ばった複雑怪奇なルールやしきたりに戸惑いを覚えます。

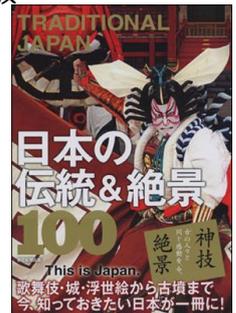
独自のリサーチ力で着物についての疑問を払拭し、自分なりのおしゃれを手に入れた著者の体験談や歯に衣着せぬ物言いは爽快です。着物に興味はあるけど、ちょっとハードルが高いと感じている人にぴったりの本です。



『日本の伝統&絶景100』 朝日新聞出版／編集 朝日新聞出版

伝統芸能に始まり、美術や食、祭りまで日本の文化がすべて詰まった迫力満点オールカラービジュアル本です。中でも日本を象徴する富士山が日光で赤く染まる「紅富士」の写真は圧巻です。

日本の素晴らしさを再確認でき、海外の人達に日本を紹介する際にも最適な一冊です。



『仏果を得ず』 三浦 しをん／著 双葉社



伝統芸能・文楽（人形浄瑠璃）の世界に生きる技芸員や彼らを取り巻く人々の人間模様を描いた物語です。

若手大夫の健は、人間国宝で師匠の銀大夫から、義太夫三味線のといちろう兎一郎と組むように命じられました。兎一郎は技芸員から「変わり者」と噂され、とっつきにくい人物だったため健は戸惑います。兎一郎に不安を覚えながらも芸の道に精進し成長する姿が生き生きと描かれています。

『お抹茶のすべて』 桑原 秀樹／著 誠文堂新光社

アイスにケーキ、チョコなど抹茶を使ったスイーツは大人気ですが、抹茶について詳しく説明できる人は少ないのではないのでしょうか。

本書は抹茶の歴史から製造工程まで、年代順に当時の写真や資料を用いて解説しています。また、抹茶の立て方やスイーツレシピも掲載されていてまさに一冊まるごと抹茶本です。



『三味線ざんまい』 群 ようこ／著 KADOKAWA



念願だった三味線教室の門をたたいた著者による、お稽古エッセイです。

和楽器ならではの独特な旋律や演奏技法に四苦八苦したり、初めての発表会で緊張する姿が、軽妙なタッチでユーモラスに描かれています。

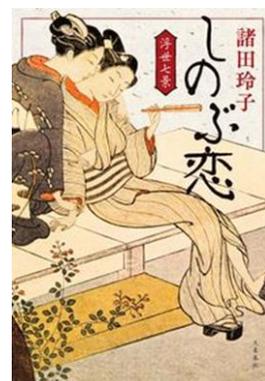
著者が全くの初心者から名取りをとるまでの奮闘する姿は、三味線に詳しくなくても楽しく読むことができます。



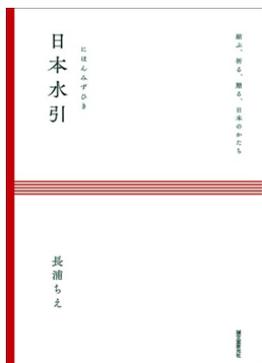
『しのぶ恋』 諸田 玲子／著 文藝春秋

別荘で療養していた美童の角之助^{かくのすけ}は、ある日庭先で戯れる商家の娘お初と乳母のたみの美しさに魅了され、段々と惹かれ始めるのですが…。

隠居の身となった角之助が、若かりし頃に起こした悲劇を顧みる「縁先物語」は、表紙絵を飾る同名浮世絵をモチーフとしています。ほかにも有名な浮世絵から材をとった7つの短編小説が収められています。



『日本水引』 長浦 ちえ／著 誠文堂新光社



水引と言うと誰もが冠婚葬祭の際に使用する祝儀袋や不祝儀袋を思い浮かべるのではないのでしょうか。

水引の歴史を紐解いていくと、その原型は古事記や日本書紀の書かれた時代まで遡り、時代につれて変化しながら現在も受け継がれているのだそうです。

本書は水引にスポットをあて、そのルーツから礼法、基本の結び方などを図や写真とともに紹介しています。水引の奥深さに感嘆する一冊です。

☆☆☆こちらどうぞ☆☆☆

- 『阿川佐和子のこの作家に会いたい』 阿川 佐和子／著 文藝春秋
『日本の美しい庭園図鑑』 大野 暁彦／著 鈴木 弘樹／著 エクスナレッジ
『ようかん』 虎屋文庫／著 新潮社
『金剛の塔』 木下 昌輝／著 徳間書店
『金継ぎの技法書』 工藤 かおる／著 誠文堂新光社
『着物をめぐる物語』 林 真理子／著 新潮社
『イラストでわかるお江戸ファッション図鑑』 撫子 凜／著 丸山 伸彦／監修 マール社



特集②：心も体もほっかほか

木の葉が色づきだんだんと寒くなってきました。これからの季節は温かいものが恋しくなりますね。そこでみなさんの心と体を温めてくれる本をご紹介します。

『温泉天国』

嵐山 光三郎ほか／著
河出書房新社

☆嵐山光三郎や吉川英治など 32 名の名だたる作家たちの温泉にまつわるエッセイ集です。

『冷えとりの専門医が教える 病気を防ぐカラダの温め方』

川嶋 朗／監修 日東書院本社

☆自宅でできる温活健康法をご紹介します！

『今日から自宅がジムになる宅トレ』

坂詰 真二／著 カンゼン

☆ジムに行かなくても、自分のペースでトレーニング！ゆるーく体を動かして脂肪を燃焼させよう。

『手づくりしたい ほかほか中華まん』

茂手木 章／著 家の光協会

☆ほかほかの中華まんを皮から手作りしてみよう！

☆☆こちらどうぞ☆☆

- 『焚き火をとことん楽しむ』 ガルヴィ編集部／編 実業之日本社／編 実業之日本社
『からだにおいしい！
甘酒スイーツ&ドリンク』 植木 もも子／著 日東書院本社
『鍋おかず100』 鈴木 理乃／著 永岡書店
『味噌汁専門店の具たくさん味噌汁100』 美噌元／監修 世界文化社

図書館カレンダー



11月

日	月	火	水	木	金	土
		1 ×	2	3	4	5
6	7 ▲	8 △	9	10	11	12
13	14 ▲	15 △	16	17	18	19
20	21 ▲	22 △	23	24	25	26
27	28 ▲	29 △	30 ×			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5 ▲	6 △	7	8	9	10
11	12 ▲	13 △	14	15	16	17
18	19 ▲	20 △	21	22	23	24
25	26 ▲	27 △	28	29 ×	30 ×	31 ×

1月

日	月	火	水	木	金	土
1 ×	2 ×	3 ×	4 ×	5	6	7
8	9	10 ×	11	12	13	14
15	16 ▲	17 △	18	19	20	21
22	23 ▲	24 △	25	26	27	28
29	30 ▲	31 ×				

×…全館休館日 △…加須図書館休館日 ▲…騎西・北川辺・おおとね図書館休館日

*開館時間 加須図書館…9:30～20:00 騎西・北川辺・おおとね図書館…9:30～18:00

年末年始の休館とブックポストの利用について

○年末年始の休館日

市内全図書館

12月29日（木）から1月4日（水）まで



休館期間中、ブックポストへ返却できますが、大量の資料が返却されると、資料が破損してしまう恐れがあります。年末年始の休館期間を含む貸出期間は、通常より延長されていますので、できるだけ図書館開館日にカウンターへお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。

～加須図書館まつり～

日時：11月26日（土）
9時30分～16時30分

場所：加須図書館

★クイズラリーやおはなし会など楽しいイベントがいっぱい！ぜひご来館ください。

同日開催

～講演会～

演題：司馬遼太郎で考える～鎌倉武士のあれこれ～

講師：小名 泰裕氏

時間：14:00～（受付：13:30～）

場所：市民プラザかぞ1階 視聴覚ホール

※図書館まつり・講演会ともに詳細は加須市立図書館ホームページをご覧ください。

～大人のためのおはなし会～

日時：12月1日（木）
14:00～（受付13:30～）

語り手：中村順子氏（元図書館司書）

定員：30名（申込先着順・無料）

申込：11/5（土）～27（日）

北川辺図書館へ来館または電話

※他の図書館では申込できません

※詳細は加須市立図書館ホームページをご覧ください。

申込・問合せ

北川辺図書館 TEL0280-62-4400

【お問い合わせ】

- 加須図書館 中央2-4-17 電話：0480-61-8200
- 騎西図書館 根古屋633-10 電話：0480-73-3178
- 北川辺図書館 麦倉1473-1 電話：0280-62-4400
- 童謡のふる里おおとね図書館 琴寄597-1 電話：0480-78-2211

☆図書館WebサイトURL：<https://www.library.kazo.saitama.jp/>